

# 樣 式 一 覽

# 様式一覧

## 目次

様式番号	書式（事項）名	ページ	備考
第1号様式	施工計画書	474	第1編1-1-5
2	支給品受領書	487	第1編1-1-19
3	支給品精算書	488	〃
4	貸与品借用書	489	〃
5	貸与品返納書	490	〃
6	現場発生品調書	491	第1編1-1-20
7	使用材料調書	492	第1編1-1-22
7-1	材料確認（検査）調書	493	〃
8	施工体制台帳	494	第1編1-1-12
8-1	工事作業所災害防止協議会兼施工体系図	495	〃
8-2	工事担当技術者台帳	496	〃
9	工事打合簿	497	第1編1-1-2
10	工程表	498	第1編1-1-4
11	工事履行状況報告書	499	第1編1-1-30
12	段階確認書	500	第1編1-1-23
13	工事事務報告書	501	第1編1-1-37
14	電子媒体等納品書	502	第1編1-1-46
15	出来形管理表	503	土木工事施工管理基準（案）
16	品質管理表	504	〃
様式1-1	測定結果総括表	505	〃
1-2	測定結果 覧表	506	〃
2	出来形品質管理図表	507	〃
3	出来形品質管理図（工程能力図）	508	〃
4	工度数表	509	〃
42-2	アスファルト混合物の敷均し時の温度測	510	〃
51-1	塗膜厚測定管理表	511	〃
51-2	塗膜厚測定成績表	512	〃
52	コンクリート中の塩分測定表	513	生コンクリートの取り扱いマニュアル

第1号様式

所 長	室 長			監督員

平成 年 月 日

## 施 工 計 画 書

三重県知事 へ

請負者氏名 印

平成 年度

工事

施工計画書について（提出）

標記について三重県公共工事共通仕様書第1編1 1 5に基づき提出します。

受理日 平成 年 月 日

監督員 印

( 1 ) 工事概要

工事概要については、下記の記載例程度の内容を記載する。なお、以下記載例については、必ずしもこれによることはない。

また、工事内容は、設計図書の工事数量総括表の写しでよいものとする。

工事概要記載例

工事番号

工事名 ○○工事

工事場所 ○○ 県○○市○○ 地先 (N o . ○○～ N o . ○○)

工 期 自平成○○ 年○○ 月○○日

至平成○○ 年○○ 月○○日

請負代金 ¥○○○ , ○○○ , ○○○ 円

発注者 ○○事務所

TEL○○○ ○○○ ○○○○

請負者 ○○建設株式会社

所在地○○ 県○○ 市○○ △△ △△ 番地

TEL○○○ ○○○ ○○○○

○○作業所

所在地○○ 県○○ 市○○ △△ △△ 番地

TEL○○○ ○○○ ○○○○

[工事内容記載例]

工事区分	工種	種別	細別	単位	数量	摘要
道路改良	擁壁工	既製杭工	鋼管杭	本	100	



( 3 ) 現場組織表

現場組織表は、現場における組織の編成及び命令系統並びに業務分担がわかるように記載し、監理（主任）技術者、専門技術者を置く工事については記入する。

また、現場代理人については、夜間の連絡先を記入する。

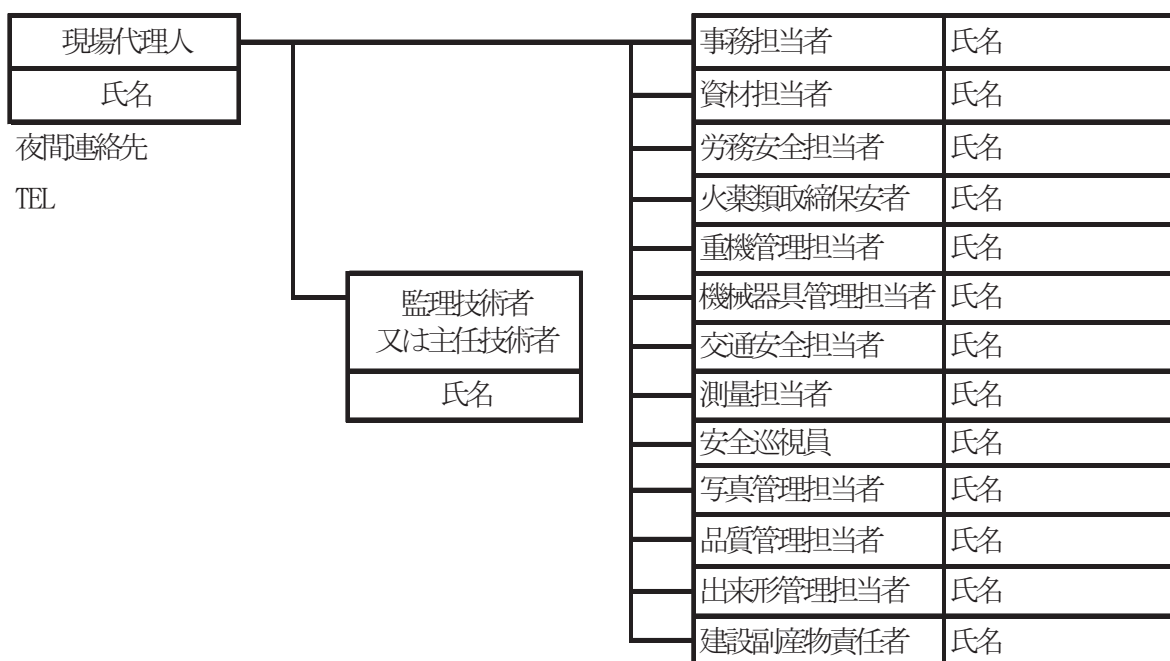
[現場組織表記載例]

事務所

住 所

T E L

F A X



( 4 ) 指定機械

工事に使用する機械で、設計図書で指定されている機械（騒音振動、排ガス規制、標準操作等）について記載する。

[指定機械使用計画記載例]

機械名	規格	台数	使用工種	備考

( 5 ) 主要船舶・機械

工事に使用する船舶・機械で、設計図書で指定されている機械（騒音振動、排ガス規制、標準操作等）以外の主要なものを記載する。

[主要船舶・機械使用計画記載例]

機械名	規格	台数	使用工種	備考

( 6 ) 主要資材

工事に使用する指定材料及び主要資材について記載する。また、必要とする場合は、備考欄に取扱会社名等を記載すること。

資材搬入時期と計画工程表が整合していること。

[主要資材計画記載例]

資材名	規格	単位	予定数量	搬入時期	備考
生コンクリート	18 8 40	m3	300	8月中旬	〇〇生コン
異型棒鋼	D13	kg	800	7月上旬	〇〇製鉄

( 7 ) 施工方法

施工方法は、次のような内容を記載する。

1) 「主な工種」毎の施工方法

当該工種における作業フロー等を記載し、各作業段階における事項について記述する。

## 2) 施工実施上の留意事項及び施工方法

工事箇所の作業環境（周辺の土地利用状況、自然環境、近接状況等）や主要な工種の施工実施時期（降雨時期、出水・濁水時期等）等について記述する。

これを受けて施工実施上の留意事項及び施工方法の要点、制約条件（施工時期、作業時間、交通規制、自然保護）、関係機関との調整事項について記述する。

また、準備として工事に使用する基準点や地下埋設物、地上障害物に関する防護方法について記述する。

## 3) その他

工事全体に共通する仮設備の構造、配置計画等について位置図、概略図等を用いて具体的に記述する。

その他、間接的設備として仮設建物、材料、機械等の仮置き場、プラント等の機械設備、運搬路、仮排水、安全管理に関する仮設備等について記述する。

## 4) 記載対象

- ① 主要な工種
- ② 通常の施工方法により難しいもの（例：新技術による施工等）
- ③ 設計図書で指定された工法
- ④ 共通仕様書に記載されていない特殊工法
- ⑤ 施工条件明示項目で、その対応が必要とされる項目
- ⑥ 特殊な立地条件で施工や関係機関及び第三者対応が必要とされている施工等
- ⑦ 共通仕様書において、監督員の「承諾」を得て施工するもののうち、事前に記述できるもの及び施工計画書に記述することとなっている事項
- ⑧ 指定仮設又は重要な仮設工に関するもの



[ 作業フロー（重力式擁壁）記載例]



(留意点)

- a) 指定仮設または、重要な仮設工に関するものについて記述する。
- b) 作業フロー等の記述及び留意事項や施工方法の要点を解りやすく記述する。
- c) 「共通仕様書、特記仕様書において、承諾を必要とする事項」及び「施工計画書に記載すべき事項と指定された事項」、「重点安全対策の具体的な実施方法」について記述する。また、次の間接的設備について記載する。
  - ・ 監督員詰所、現場事務所、作業員宿舎、倉庫等の仮設建物
  - ・ 材料、機械等の仮置場
  - ・ 工事施工上に必要なプラント等の機械設備
  - ・ 運搬路（仮道路、仮橋、現道補修等）
  - ・ 仮排水
  - ・ 工事表示板、安全看板、立入防止柵、安全管理に関する仮設備

( 8 ) 施工管理計画

施工管理計画については、設計図書（「建設工事施工管理基準（案）」「写真管理基準（案）」）等に基づき、その管理方法について記述する。

1 ) 工程管理

ネットワーク、バーチャート等の管理方法のうち、何を使用するかを記述する。

2 ) 品質管理

当該工事で行う品質管理の「試験項目」（試験）について、次のような品質管理計画表を作成する。

[品質管理計画表記載例]

工種	種別	試験項目	施工規模	試験頻度	試験回数	管理方法		摘要
						試験データ	○ ○	
盛土	盛土材料	○○試験	2000m <sup>3</sup>	土質変化時	○回	○		

(留意点)

- ① 必要な工種が記述されているか。
- ② 施工規模に見合った試験回数になっているか。
- ③ 基準にないものの適用は妥当か（請負者と監督員で協議が必要）。
- ④ 管理方法や処理は妥当か。
- ⑤ 適切な試験方法か。

3 ) 出来形管理

当該工事の出来形管理は、「建設工事施工管理基準（案）」等により記述する。また、該当工種がないものについては、あらかじめ監督員と協議して定める。

[出来形管理計画表記載例]

工種	形状寸法	測定基準	出来形図	出来形成果表	摘要
○○	○ ○ ○	測定延長○ ○mに1箇所	平面図に実測延長を記入する。	断面寸法及び高さについて成果表を作成する。	

(留意点)

- ① 必要な工種が記載されているか。
- ② 施工規模に見合った測定箇所、頻度となっているか。
- ③ 不可視部の対応は検討されているか。
- ④ 基準にないものの適用は妥当か。(監督員と協議が必要)

#### 4) 写真管理

当該工事の写真管理は、「写真管理基準(案)」等により記述する。

[写真管理計画表記載例]

工種	形状寸法	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	摘要
〇〇	〇〇〇	(施工状況) 床掘、砕石基礎、コン クリート打設 (出来高管理)	各施工中	各1回 No. 〇〇	
		砕石基礎 厚さ、幅	締固め後	100m <sup>2</sup> に1回 No. 〇〇	
		本体 厚さ、幅、高さ	型枠取外し 後		

(留意事項) 「写真管理基準(案)(留意事項)より」

写真管理基準の「撮影箇所一覧表」の適用について、次の事項に留意する。

- ・撮影項目、撮影頻度等が工事内容により不適切な場合は、監督員の指示により追加、削減するものとする。
- ・施工状況等の写真については、ビデオカメラ等の活用ができるものとする。
- ・不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- ・撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図等をアルバムに添付する。
- ・撮影箇所一覧表に記載のない工種については、監督員の承諾を得て取り扱いを定めるものとする。

5 ) 段階確認

設計図書で定められた段階確認項目についての計画を記述する。

[段階確認（段階確認書） 記載例]

種別	細別	確認項目	施工予定次期	記事
〇〇	〇〇	〇〇〇	〇月〇日	

6 ) 品質証明

当該工事の中で行う社内検査項目、検査方法、検査段階について記述する。

( 9 ) 安全管理

安全管理に必要なそれぞれの責任者や安全管理についての活動方針について記述する。

また、事故発生時における関係機関や被災者宅等への連絡方法や救急病院等についても記述する。記述が必要な項目は次のとおり。

1 ) 工事安全管理対策

- ① 安全管理組織（安全協議会の組織等も含む）
- ② 危険物を使用する場合は、保管及び取り扱いについて
- ③ その他必要事項

2 ) 第三者施設安全管理対策

家屋、商店、鉄道、ガス、電気、電話、水道等の第三者施設と近接して工事を行う場合の対策

3 ) 工事安全教育及び訓練についての活動計画

毎月行う安全教育・訓練の内容を記述する。

[安全教育・訓練計画記載例]

月	主な活動内容	安全・訓練内容
1月	準備工、仮設工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該工事内容等の周知徹底</li> <li>・ 避難訓練及び担架の使用方法</li> <li>・ ビデオによる安全教育</li> </ul>
2月	〇〇工、××工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業手順の周知、徹底（現場にて再確認）</li> <li>・ 車両系建設機械の危険防止について</li> </ul>

[安全管理組織記載例]

〇〇安全衛生責任者 (安全委員長)	事務局安全委員	氏名
氏名	機電安全委員	氏名
	土木安全委員	氏名
副安全委員長	火薬類消費管理者	氏名
氏名	火薬類出納官吏者	氏名
	自動車安全運行管理者	氏名
	安全管理者	氏名
	衛生管理者	氏名
	安全巡視員	氏名

(留意点)

- ① 安全管理組織において、現場パトロールの体制や保安員の明記が必要。
- ② 関係法令、指針を参考に記述する。
- ③ 作業主任者の配置が必要な作業については、作業名及び作業主任者の氏名等を記述する。

※ 参考主な法令等（共通仕様書第1編1 1 3 4（工事中の安全確保）参照）

- ・労働安全衛生法
- ・土木工事安全施工技術指針
- ・建設機械施工安全技術指針
- ・建設工事公衆災害防止対策要領

[安全管理活動記載例]

名称	場所	参加予定者	頻度
朝礼	現場	現場作業従事者	毎日
安全巡視	現場	安全巡視員	毎日

[危険物記載例]

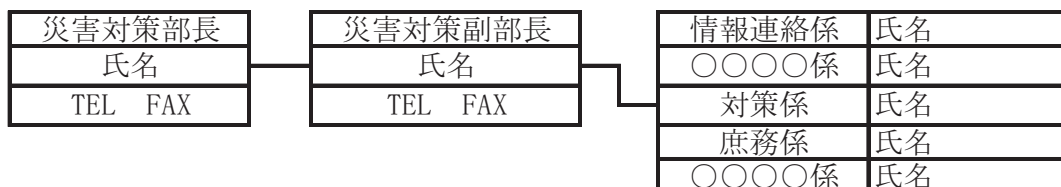
名称	摘要法規	使用予定量
導火線及び雷管	火薬類取締法	〇〇m及び〇〇個
ダイナマイト	火薬類取締法	〇〇kg

( 1 0 ) 緊急時の体制及び対応

大雨、強風等の異常気象又は地震、水質事故、工事事務事故などが発生した場合に対する組織体制及び連絡系統を記述する。

1 ) 組織体制

[記載例]



2 ) 連絡系統

連絡系統図には、下記機関の昼間及び夜間の連絡先について記述する。

- ① 発注者関係（事務所、出張所等の主任監督員等）
- ② 請負者関係（本社・支社、現場代理人、監理（主任）技術者等）
- ③ 関係機関（警察署、消防署、労働基準監督署、救急病院等）
- ④ 関係企業（電力会社、N T T、上水道、下水道、鉄道、ガス会社等）

その他、現場状況により関係する機関等の連絡先を明記する。

( 1 1 ) 交通管理

工事に伴う交通処理及び交通対策について共通仕様書第1編1 1 40（交通安全管理）によって記述する。

迂回路を設ける場合には、迂回路の図面及び安全施設、案内標識の配置図並びに交通整理員等の配置について記述する。

また、具体的な保安施設配置計画、市道及び出入口対策、主要材料の搬入・搬出経路、積載超過運搬防止対策等について記述する。

( 1 2 ) 環境対策

工事現場地域の生活環境の保全と、円滑な工事施工を図ることを目的として、環境保全対策について関係法令に準拠して次のような項目の対策計画を記述する。

- 1 ) 騒音、振動対策
- 2 ) 水質汚濁
- 3 ) ゴミ、ほこりの処理

- 4 ) 事業損失防止対策（家屋調査、地下水観測等）
- 5 ) 産業廃棄物の対応
- 6 ) その他

（ 1 3 ） 現場作業環境の整備

現場作業環境の整備に関して、次のような項目の計画を記述する。

- 1 ) 仮設関係
- 2 ) 安全関係
- 3 ) 営繕関係
- 4 ) イメージアップ対策の内容
- 5 ) その他

（ 1 4 ） 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法

再生資源利用の促進に関する法律に基づき、次のような項目について記述する。

- 1 ) 再生資源利用計画書
- 2 ) 再生資源利用促進計画書
- 3 ) 指定副産物搬出計画（マニフェスト等）

（ 1 5 ） その他

その他重要な事項について、必要により記述する。

- 1 ) 官公庁への手続き（警察、市町村）
- 2 ) 地元への周知
- 3 ) 休日

第2号様式

# 支給品受領書

平成 年 月 日

三重県知事 へ

請負者氏名 ⑩

工事番号

工事名

年 月 日工事契約に基づく下記材料を受領しました。

記

品名	規格	単位	数量	摘要



第3号様式

# 支給品精算書

平成 年 月 日

三重県知事 あて

請負者氏名 ⑩

工事番号

工事名

年 月 日工事契約に基づく支給品について、下記のとおり精算しました。

記

品名	規格	単位	数量			摘要
			支給数量	使用数量	残数量	

上記の支給精算書は事実に相違ないことを証明する。

監督員 氏名 ⑩

第4号様式

# 貸与品借用書

平成 年 月 日

三重県知事 へ

請負者氏名

印

工事番号

工事名

年 月 日工事契約に基づく下記物品借用しました。

記

品名	規格	単位	数量	貸与期間	受領場所	返納場所	貸与条件

第5号様式

# 貸与品返納書

平成 年 月 日

三重県知事 へ

請負者氏名

印

工事番号

工事名

年 月 日工事契約に基づく貸与品について下記のとおり返納します。

## 記

品名	規格	単位	数量	返納場所	摘要

第6号様式

# 現場発生品調書

平成 年 月 日

三重県知事 へ

請負者氏名

印

工事番号

工事名

上記工事において下記調書の現場発生品が生じたので納入します。

記

品名	規格	単位	数量	摘要

第7号様式

所 長	室 長		監督員

## 使 用 材 料 調 書

			平成 年 月 日		
監督員		あて			
		現場代理人			印
工事番号					
工事名					
標記工事について、下記の材料の品質を証明する資料を提出します。					
記					
材 料 名	品質規格	単位	使用数量	製造メーカー及び工場名	備 考

(注) JIS 指定商品については、その製品の品質を証明する書類にかえて、JIS 指定商品であることを証明する書類の提出によることができる。



# 施工体制台帳

〔会社名〕

〔事業所名〕

建設業の 許 可	許 可 業 種	許 可 番 号	許 可 (更新) 年月日
	大區 工事種 一般	特 定 第 号	年 月 日
	大區 工事種 一般	特 定 第 号	年 月 日

工事名称 及び 工事内容	許 可 業 種	許 可 番 号	許 可 (更新) 年月日
	大區 工事種 一般	特 定 第 号	年 月 日
施工期間 及び 場所	大區 工事種 一般	特 定 第 号	年 月 日
工 期	自 年 月 日	至 年 月 日	年 月 日

現 場 管 理 所	区 分	名 称	住 所
	元請契約		
	下請契約		

発注者の 監督者名	職 名	職 界 界 限
	専 任	

監督員名	職 名	職 界 界 限
	専 任	
現 場 代 理 人 名	職 名	職 界 界 限
	専 任	
監 理 技 術 者 名	職 名	職 界 界 限
	専 任	
技 術 者 名	職 名	職 界 界 限
	専 任	
資格内容	資格内容	資格内容
職 名	職 名	職 名
工事内容	工事内容	工事内容

〔記入事項〕 1. 上記の記載事項が建設業法の規定に適合しない場合は、その旨を併記することにより当該台帳を補正することとする。  
2. 監理技術者の職界範囲については「構造・躯体等」のいずれかに記載することとする。  
3. 専門技師については、土木・建築一式工事を行う場合は、土木・建築一式工事の専門技師に該当するものとして記載することとする。  
4. 監理技師及び専門技師等としての資格を有する場合は、専門技師に該当するものとして記載することとする。  
5. 台帳記載事項及び専門技師等について次のものを併記することとする。  
6. 台帳記載事項が建設業法の規定に適合しない場合は、その旨を併記することとする。

## 《下請負人に関する事項》

会社名	代表者名
住 所	
電話番号	( 〇〇 )
工事名称 及び 工事内容	
工 期	自 年 月 日 至 年 月 日
	年 月 日 年 月 日

建設業の 許 可	施工に必要な許可資格	許 可 業 種	許 可 (更新) 年月日
	工事種	大區 知事	年 月 日
	工事種	大區 知事	年 月 日

現場代理人名	職 名	職 界 界 限
権限及び 意見申出方	専 任	
※主任技師者名	専 任	
	兼 任	
資格内容	資格内容	資格内容

安全衛生責任者名	職 名	職 界 界 限
	専 任	
品質管理責任者名	職 名	職 界 界 限
	専 任	
法専門技師者名	職 名	職 界 界 限
	専 任	
資格内容	資格内容	資格内容
担当工事内容	担当工事内容	担当工事内容

### ※〔主任技師者、専門技師者の記入要領〕

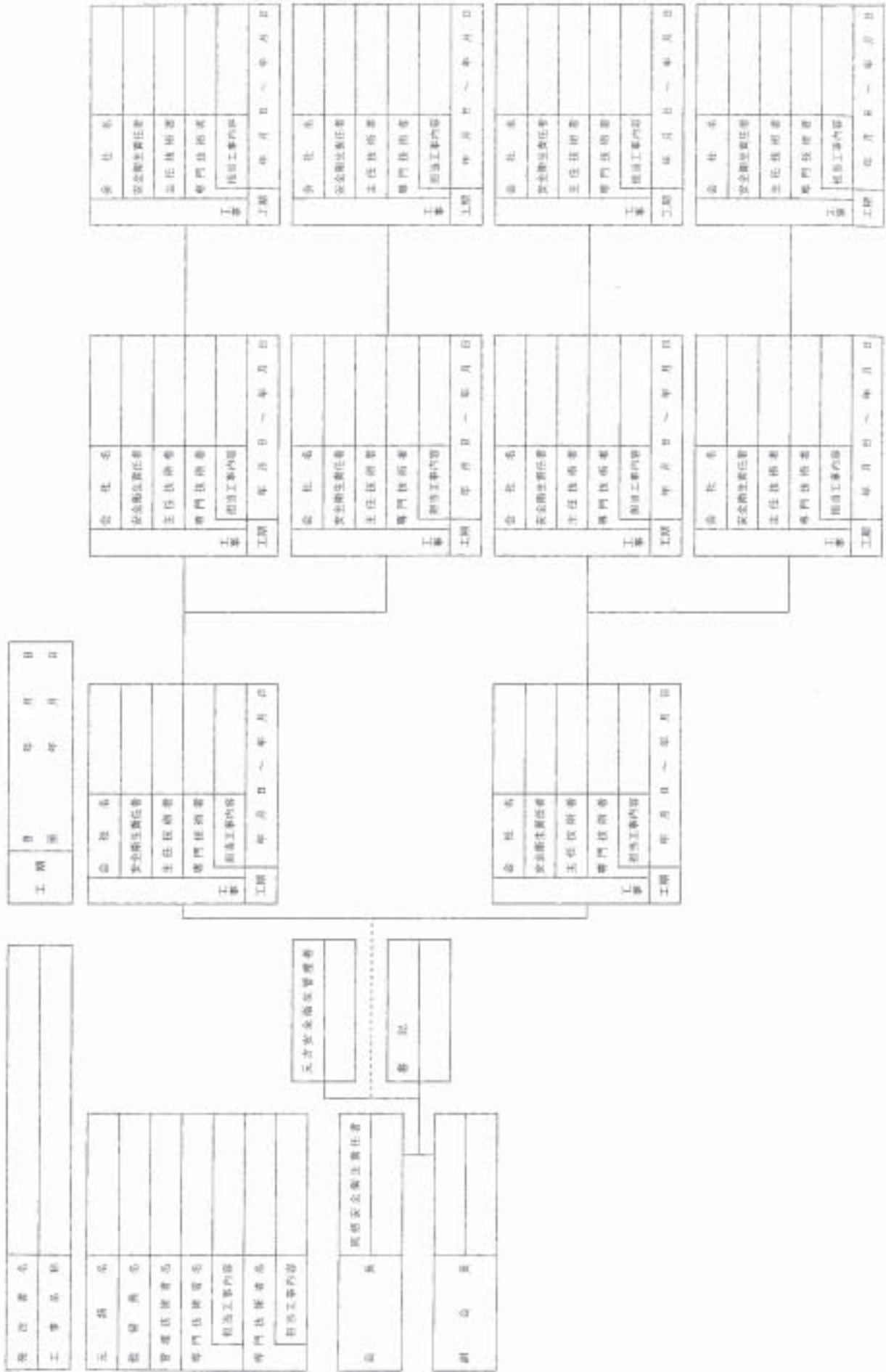
- 主任技師者の記載状況について「専任・兼任」のいずれかに○を付すこと。
- 専門技師者には、土木・建築一式工事を施工する場合は、土木・建築一式工事の専門技師に該当するものとして記載することとする。
- 監理技師及び専門技師等としての資格を有する場合は、専門技師に該当するものとして記載することとする。
- 台帳記載事項が建設業法の規定に適合しない場合は、その旨を併記することとする。

### 3. 主任技師者の資格内容 (該当するものを選んで記入する)

- ①建設士取由による場合
- 1) 大学卒(建設学科) 3年以上の実務経験
  - 2) 高校卒(建設学科) 5年以上の実務経験
  - 3) その他 10年以上の実務経験
- ②労働条件による場合
- 1) 建設業法(技術認定)
  - 2) 建設士取由(建設士試験)
  - 3) 建設士取由(建設士試験)
  - 4) 建設士取由(建設士試験)
  - 5) 建設士取由(建設士試験)
  - 6) 建設士取由(建設士試験)
  - 7) 建設業法(建設業法(技術認定))

第3-1号様式

工事作業所災害防止協議会兼施工体系図





施工体制台帳 第8-2号様式 (工事担当技術者)

工事担当技術者台帳

<table border="1"> <tr><td>元請会社名</td></tr> <tr><td>監理技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	元請会社名	監理技術者名	生 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	会社名	主任技術者名	生 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	会社名	主任技術者名	生 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	会社名	主任技術者名	生 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	会社名	主任技術者名	生 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	会社名	主任技術者名	生 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	会社名	主任技術者名	生 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	会社名	主任技術者名	生 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	会社名	主任技術者名	生 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	会社名	主任技術者名	生 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	会社名	主任技術者名	生 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>会社名</td></tr> <tr><td>主任技術者名</td></tr> <tr><td>生 年 月 日</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center;">【写真添付欄】</div>	会社名	主任技術者名	生 年 月 日
元請会社名																																															
監理技術者名																																															
生 年 月 日																																															
会社名																																															
主任技術者名																																															
生 年 月 日																																															
会社名																																															
主任技術者名																																															
生 年 月 日																																															
会社名																																															
主任技術者名																																															
生 年 月 日																																															
会社名																																															
主任技術者名																																															
生 年 月 日																																															
会社名																																															
主任技術者名																																															
生 年 月 日																																															
会社名																																															
主任技術者名																																															
生 年 月 日																																															
会社名																																															
主任技術者名																																															
生 年 月 日																																															
会社名																																															
主任技術者名																																															
生 年 月 日																																															
会社名																																															
主任技術者名																																															
生 年 月 日																																															
会社名																																															
主任技術者名																																															
生 年 月 日																																															
会社名																																															
主任技術者名																																															
生 年 月 日																																															

【注意事項】

- ※添付する写真は、縦 3 cm 横 2.5 cm 程度の大きさとし、顔が判別できるものとする。
- ※番号は、施工体系図の番号とする。

- ※本様式は、2部作成し、1部保管し、1部提出する。ただし、カラーコピーもしくはデジタルカメラ写真を印刷したものを提出してもよい。



# 工 程 表

平成 年 月 日

三重県知事 あて

請 負 者

住所又は所在地  
氏名又は商号及び代表者氏名 印

平成 年 月 日に契約した下記の工事の工程表を提出します。

## 記

工事番号	工 事 名	
工事場所		
工 期	着 手 完 成	平成 年 月 日 平成 年 月 日
契約額		円

工程図表

月 換 算 率	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
合 計	1.00											

総合工程表

100																				
90																				
80																				
70																				
60																				
50																				
40																				
30																				
20																				
10																				
0																				
出来高%/月																				



# 段 階 確 認 書

平成 年 月 日

## 施 工 予 定 表

下記のとおり施工段階の予定時期を報告します。

工事番号

工 事 名

現場代理人

種 別	細 別	確認時期項目	施 工 予 定 時 期	記 事
				* 監督員が受理した後、
				監督員が記事受理日
				及びサインをする。

平成 年 月 日

## 通 知 書

下記の種別について、段階確認を行う予定ですので通知します。

監督員

種 別	細 別	確認時期項目	施 工 予 定 時 期	記 事
				* 実施した年月日及び
				特記事項等を、確認
				後監督員が記入する。

平成 年 月 日

## 確 認 書

上記種別について、段階確認を実施しました。

監督員

所 長	室 長		監督員

## 工 事 事 故 報 告 書

平成 年 月 日	
監督員 _____ あて	
	現場代理人 _____ 印
工事番号 _____	
工事名 _____	
標記工事について、事故が発生しましたので報告します。	
記	
商号又は名称	
代表者氏名	
許可番号	国土交通大臣 知 事 ( 般 特 一 ) 第 号
営業所所在地	
工事箇所	
事故発生年月日	
事故発生場所	
事故の内容	* 事故の原因、状況、内容等について、詳細に記述する。 また、その説明資料として、写真、図面等を添付すること。

# 電子媒体等納品書

監督員 ○○ ○○ あて

請負者(住所)  
(氏名)

(現場代理人氏名) ○○ ○○

印

下記のとおり電子媒体及び電子化できなかった書類を納品します。

記

工事名	平成21年度○○工事			CORINS登録番号	1234-56789
電子媒体の種類	規格	単位	数量	作成年月日	備考
CD-R	700MB	部	2	2009年7月1日	

電子化できなかった書類については、デジタル工事写真のみの電子納品の場合は不要とする。

電子化できなかった書類名

(備考)

# 出来形管理表

工事名

---

発注者名

---

添付資料名      測定結果総括表   測定結果一覧表   出来形品質管理図表

(標準)            出来形品質管理図 (工程能力図)   工度数表   その他管理資料

請負者 (住所)

---

(氏名)

印

現場代理人氏名

印

\*電子納品する場合、本様式は不要とする。



# 品質管理表

工事名

---

発注者名

---

添付資料名      測定結果総括表   測定結果一覧表   出来形品質管理図表

(標準)            出来形品質管理図 (工程能力図)   工度数表   その他管理資料

請負者 (住所)

---

(氏名)

印

現場代理人氏名

印

\*電子納品する場合、本様式は不要とする。

測定結果総括表

工種

種別

測定項目 規格値	実測値		差		実測値		差	
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値
平均値								
最大値								
最小値								
最多値								
データ数								
標準偏差								

測定項目 規格値	実測値		差		実測値		差	
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値
平均値								
最大値								
最小値								
最多値								
データ数								
標準偏差								

測定項目 規格値	実測値		差		実測値		差	
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値
平均値								
最大値								
最小値								
最多値								
データ数								
標準偏差								

測定項目 規格値	実測値		差		実測値		差	
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値
平均値								
最大値								
最小値								
最多値								
データ数								
標準偏差								





出来形品質管理図(工程能力図)

工種

種別

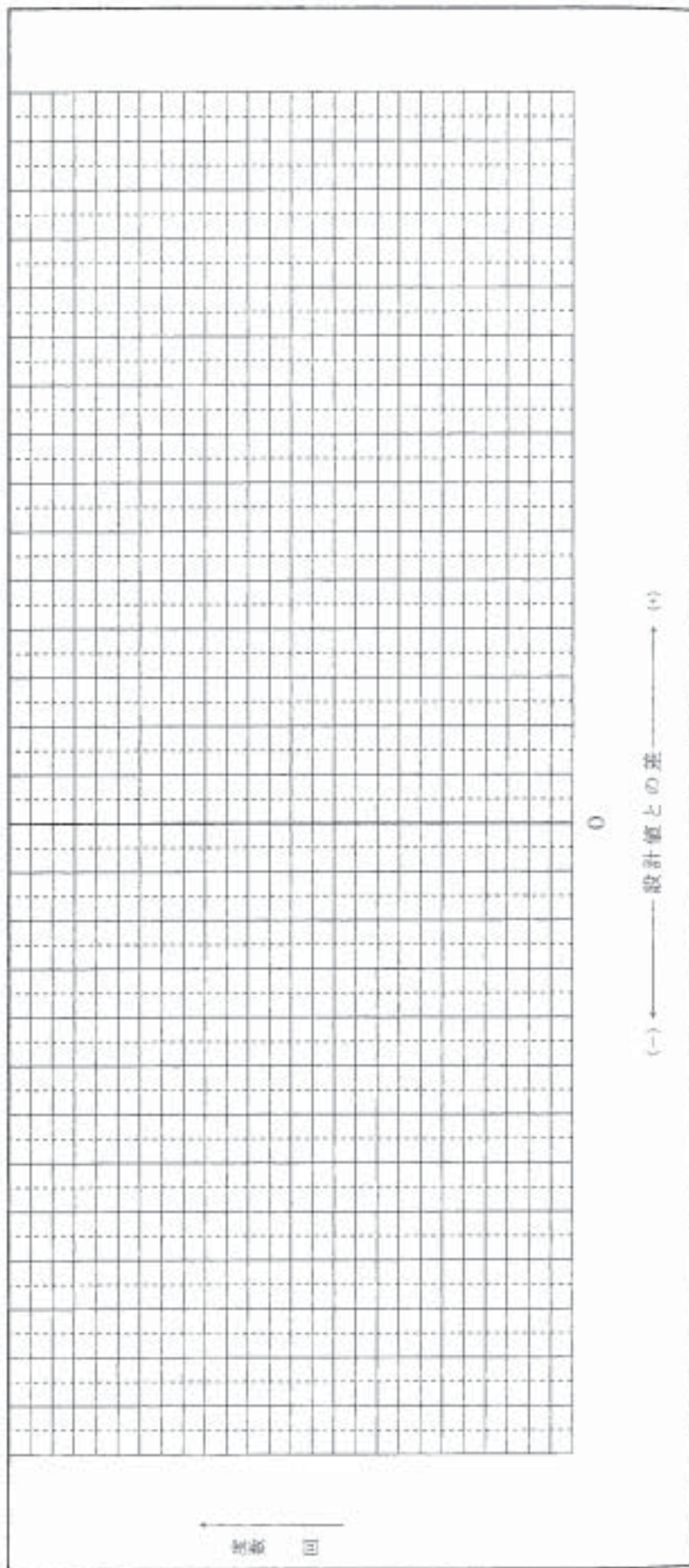
測定者

測定項目 規格値	測定値との差	測定値との差	測定値との差	測定値との差	測定値との差	測定値との差	測定値との差	測定値との差	測定値との差	測定値との差	測定値との差	測定値との差	測定値との差
	設計値との差	設計値との差	設計値との差	設計値との差	設計値との差	設計値との差	設計値との差	設計値との差	設計値との差	設計値との差	設計値との差	設計値との差	設計値との差

注) 不要な文字は——で消すこと。

工 度 数 表

測定者





## 塗膜厚測定管理表

工事名 \_\_\_\_\_ 請負者名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_

ロット番号								目標膜厚合計			
測定時点								$\mu\text{m}$			
測定年月								測定者			
測定位置		測定値						$\bar{X} - X_t$	$(\bar{X} - X_t)^2$		
		1	2	3	4	5	計			平均 $X_t$	
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
合計											
平均 $\bar{X} = \frac{1}{N} \sum_{t=1}^N X_t =$							$\mu\text{m}$	標準偏差 $S = \sqrt{\frac{1}{N-1} \sum_{t=1}^N (\bar{X} - X_t)^2} =$			$\mu\text{m}$





# コンクリート中の塩分測定表

工事名 \_\_\_\_\_

調査者名 \_\_\_\_\_

工種名 \_\_\_\_\_

測定者 \_\_\_\_\_

測定者氏名	(監) (計)	測定番号	測定値 (%)又は 空欄	塩分量 (kg/m <sup>3</sup> )
立会者氏名	立会者氏名	1		
測定年月日	測定年月日	2		
工種	工種	3		
コンクリートの種	コンクリートの種	計		
コンクリートの製造会社名	コンクリートの製造会社名	平均値		
混和剤の種類	混和剤の種類			
セメントの種類	セメントの種類			
単位水量	単位水量			kg/m <sup>3</sup>
測定番号	測定番号			
備考 測定結果に対する処置を講じた事項等を記入する。				

測定者氏名	(監) (計)	測定番号	測定値 (%)又は 空欄	塩分量 (kg/m <sup>3</sup> )
立会者氏名	立会者氏名	1		
測定年月日	測定年月日	2		
工種	工種	3		
コンクリートの種	コンクリートの種	計		
コンクリートの製造会社名	コンクリートの製造会社名	平均値		
混和剤の種類	混和剤の種類			
セメントの種類	セメントの種類			
単位水量	単位水量			kg/m <sup>3</sup>
測定番号	測定番号			
備考 測定結果に対する処置を講じた事項等を記入する。				

(注)塩分量を(%)で測定した場合は、次式で塩分量を求め、塩分量(kg/m<sup>3</sup>)=単位水量(kg/m<sup>3</sup>)×測定値÷100